



長崎市と株式会社ゼンリンとの包括連携協定について ZENRIN

長崎市と株式会社ゼンリンは、令和3年7月19日（月）、次のとおり包括連携協定を締結いたします。

1 目的

両者が有する資源や機能等の効果的な活用を図りながら、**幅広い分野で相互に連携・協力**するとともに、**地図情報を活用した地域課題の解決を図る**ことで、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与すること。

2 連携事項と主な取組み

本協定に基づき次のことに取り組み、**SDGs（持続可能な開発目標）**の達成や長崎市第五次総合計画基本構想に掲げる「**めざす2030年の姿**」の実現に貢献します。

◎：新規、●：継続

	連携事項（分野）	主な取組み
(1)	安全・安心な暮らしの実現 	●地図情報を活用した防災力向上 長崎市が災害対策本部を設置した際の地図製品等の供給及び利用や、平時からの防災に関する情報交換を通じ、防災・減災に寄与する地図の作成を検討・推進することにより、市民生活における防災力の向上に努める。
(2)	教育環境の充実 	◎社会科プログラミング「まなっぷ」《今後検討予定》 プログラミング授業が目的ではなく、プログラミング的思考を身につけるために市立学校が位置する地域の実フィールドでの体験を通じた活用の可能性について検討する。
(3)	交流人口の拡大  	◎長崎市観光マイクロ MaaS 長崎市が持つ地形・歴史・文化をつなぐことでストーリー化する周遊ルートの整備や、街歩きのための公共交通を便利に利用するための機能を開発することで、長崎市における移動の楽しさ、便利さを定着させ、長崎市に人を呼び込むことを目指す。
(4)	快適な移動環境の実現 	

	連携事項（分野）	主な取組み
(5)	デジタル化の推進 	◎「住宅地図 for Web」の活用 自治体における業務の効率化を実現するため、地図のデジタルデータを用いた自治体専用 Web サービスの活用によりデジタル化を推進。 ◎らくらく販促マップ《今後検討予定》 地元企業における販売促進活動を支援するため、地図のデジタルデータを用いた販促支援 Web サービスの活用によりデジタル化を推進。

【SDGs（持続可能な開発目標）17の目標】



【問い合わせ先】

- ・本協定に基づく具体的な取組内容に関すること
 (株)ゼンリン 総合企画室 広報担当 大平 03-5295-9000
- ・本協定の締結に至った経緯や目的等に関すること
 長崎市都市経営室 星原・比良 095-829-1111